

あ・うんネット周南
在宅医療介護連携会議

北部圏域 ワーキンググループ会議

2019.7-2020.2



あ・うんネット周南

わたしたちが
支えているのは
「北部の暮らし」です。



ケアマネジャー



リハビリテーション



小規模多機能型居宅介護



介護施設



通所介護



管理栄養士



薬剤師



訪問看護



訪問介護



グループホーム



民生委員



地域包括支援センター



社会福祉協議会



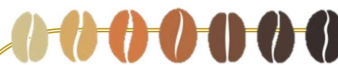
ちやいネット地区ステーション
地域福祉コーディネーター



※詳細は周南市 HP に掲載

令和元年度あ・うんネット周南在宅医療介護連携会議北部圏域ワーキンググループ会議 参加事業所・組織（順不同）

岩本医院、周南高原病院、鹿野博愛病院、すぎのこ薬局、訪問看護ステーション周南高原、徳山医師会訪問看護ステーションペンギんうらら周南高原病院通所リハビリテーション、JA デイサービス須々万ペンギん、周南高原デイサービスセンター、やまなみ荘デイサービスセンター周南市須金老人デイサービスセンター、JA 訪問介護ふれあいとくやま、友愛園訪問介護事業所、やまなみ荘在宅介護支援センター、特別養護老人ホームやまなみ荘、グループホームせせらぎ、愛の家グループホーム周南須々万、メディアケアホーム周南高原、小規模多機能型居宅介護周南高原、周南高原病院居宅介護支援事業所、友愛園指定居宅介護支援事業所、鹿野博愛病院居宅介護支援事業所、JA 介護支援センター須々万ペンギん、おにたけ居宅介護支援事業所、居宅介護支援事業所、周南北部地域包括支援センター、民生委員児童委員協議会、ちやいネット地区ステーション地域福祉コーディネーター、周南市社会福祉協議会、周南市



周南市北部地区の医療、介護、地域関係者とのネットワーク構築を目的にワーキング会議が立ち上げられ、初回の会議が令和元年7月23日に開催されました。初回から医療、介護、福祉関係者と様々な職種の方が多数参加され、盛り上がった会となりました。

座長に指名されましたが、皆さんと共に考えていけるのを楽しみに参加してきました。回ごとにテーマを決めて、ワークショップ形式で話し合いを行い、様々な問題や強みなどを多職種で共有することができて、問題解決の糸口が広がってきたと思います。地域の方の参加もあり、専門職からでは思いつかないような、より具体的な問題提起もありました。

高齢化が進む北部地区ならではの問題や強みもありますが、すべての問題が解決できるとは思っていません。

今後も少しでも多くのことを共有してそれぞれの知識、経験をもとにした多職種連携で対応することができるように、連携を少しでも深めていけるような会を続けていけたらいいなと思っています。

北部圏域ワーキング会議 座長 岩本医院 岩本直樹



『あ・うんカフェ やまびこ』始めます。



あ・うんカフェやまびこは、北部圏域で暮らしたいと願う人を『支える人たち』が気軽に集まり、医療・介護・地域についての情報交換を行ったり、よりよい支援について考え、話したりする場所です。お茶を飲み、そして支える仲間たちに会いに来ませんか。

テーマは医療・介護・地域
に関することなどいろいろ

カフェのような
リラックス感

お菓子は持ち寄り
で持ちつ持たれつ

支える人ならだれでも参加できる

少人数での話し合い

年4回程度開催



あ・うんネット周南在宅医療介護連携会議 「北部圏域ワーキング」とは

あ・うんネット周南では、社会資源や地域資源の限られた北部圏域で安心して在宅療養生活を送れるよう、医療・介護・地域福祉関係者のネットワーク構築を目的にワーキングを開催しました。

令和元年7月から2月にわたる全6回のワーキングで、「顔の見える関係づくり」「地域課題と社会資源の共有」「専門職の質の向上」を目標に協議を積み重ねました。

専門職から見た北部圏域の「強み」と「弱み」

「強み」

- 事業所が少ないので顔が見えやすい
- 広い家や土地、畑がリハビリになる
- 住民同士のネットワークが広く、強く、助け合って生活をしている

「弱み」

- 送迎など移動範囲が広く、限られた事業所しか利用できない
- 土砂崩れの危険があり、送迎が困難になる
- 専門職が集う機会がない

専門職支援として

心がけていること・ちょっと無理してやっていること

「心がけていること」

- 本人が**自分の意思**で決定できるための支援
- 本人・家族の立場に立って考える
- 対象者の身体状況が変わったら、各事業所へ**速やかに連絡**する
- 1人で抱え込まない
- 持ちつ持たれつの関係を大切に
- 地域の人と**つながり**をつくる
- 地域の文化を知る

「無理していること」

- 家族の代わりに救急車に乗った
- 台風や豪雨の時に緊急性の確認のため訪問した
- 家で動けなくなっている人の**受診介助**をした
- 独居高齢者の**入院時の準備**、手続きをした
- 家の片付け、整理
- 金銭をやむなく管理した（支払い代行）
- 超山間部でサービスが届かなかった時、ご飯を作る手伝いをせざるをえなかった

医療介護専門職と地域住民が対話を通して感じたこと

「医療介護専門職」

- 地域の方々が**知らない**ところで頑張ってくださいっていると改めて感じました。
- 地区ごとの**工夫**やサービス構築で対応していることに感じました。
- 同じ方向を向いている人が、地域にもたくさんおられることがよくわかりました。
- 地域への自分たちの**仕事のPR**がいたると思えました。
- 互いに**もっと知る**ことができ、力を出し合えば解決できる課題もあるように感じました。

「地域住民」

- 北部住民が**守られている**と感じた。安心。
- いろんな**多職種の方々が活躍**されていることを知りました。今後何か協力できることがあれば、何ができるのか考えてみたい。
- 初めて顔を合わせる方もいて、今日来て良かったと思います。とても心強く思いました。
- 専門職のできること、できないことが理解できたのは良かった。



他の専門職&市民のみなさんへ

To 知ってください！相談してください！



●要介護状態になっても、健康管理は「予防」が重要。何事も早めの対応を！

●健康不安があるけど医師に相談しにくい時や、在宅での医療処置に困る時は、気軽に相談ください。

From 訪問看護師・看護師

●地域で介護の必要な人が、自分らしく暮らすために力を尽くしています。

●私たちでは、ご家族のようにではないことがたくさんあります。ご本人やご家族の力に頼る（委ねる・任せる）場面も多いことをご理解いただきたいです。

From ケアマネジャー

●人はいずれ誰も弱って死んでいくものです。

●全ての問題は解決できませんが、少なくとも支援を求めている人は救えるように、みんな力を合わせて考えたいです。

From 医師

●認知症の初期症状が地域で見逃され、いつの間にか進行してしまうことを残念に思っています。

●入所に関係なく、認知症やその対応で、お困りのことがあればご相談ください。

From グループホーム

●薬を正しく飲んでもらうために、医師と連携しながら様々な支援をすることが出来ます。

●大事な薬が飲めていない人がいたら、相談してください。

From 薬剤師

●自立した暮らしに向けて、全て援助するのではなく、ご本人のできることから可能な限りやっています。

From ホームヘルパー

●高齢者の中には、「低栄養」だけなく、「何を食べた？」と聞いてみてください。

●低栄養で心配な人がいたら相談してください。

From 管理栄養士

●地域資源の把握や独居高齢者などを訪問して、地域のニーズを把握しています。

●専門職ではないのですが、地域のことで分からないことがあればご相談ください。

From 地域福祉コーディネーター

●地域の高齢者には、話し相手やつながりを求めている人が多いと感じます。

●独居高齢者などを対象に様々な相談機関と地域のパイプ役として活動しています。

From 民生委員



他の専門職より

From 感謝しています！期待しています！

To 医師・病院

●緊急時の対応や看取りをしてもらえることに、とても感謝しています！

●本人や家族への「ごぞい」という時の説明を期待しています。

To リハビリ専門職

●日常のケアを通じて、本人の思っていることや望んでいることなど“その人らしさ”を引き出し、深く関わってもらえることに感謝しています。今後も期待しています。

To 訪問看護師・看護師

●苦手の医療面のことや、健康管理法を教えてください！

●受診の必要性の判断や、医師への伝え方の相談などに期待しています！

To ケアマネジャー

●生活や家族、地域の様々な情報を把握しておられ、それを教えてもらって感謝しています。

●医療面のことは、医師や看護師と連携を密にし、自己判断せずに対応されることを期待しています。

To ホームヘルパー

●本人の日々の暮らしを誰よりも把握されているので、「変化」をいち早く教えてもらえることに感謝しています！

To デイサービス・デイケア

●楽しく活動できるだけでなく、その中で心身の状態をしっかりと把握してもらって感謝しています！

●その場で、異変や困りごとがあったら、事業所でも対応してもらえることを期待しています。